



たくましく生活する外国人の人達

本岡俊郎

十四年前フードバンク活動を始めた時から生活が苦しい外国人の人達を助けてきました。今も小田原で活動しながら群馬県や静岡県の人達を支援しています。

外国人労働者が多く住む群馬県邑楽郡大泉町には、外国人を支援対象にしているフードバンクがあります。ある日系ブラジル人が、コロナ禍で苦しむ彼らを見捨てておけず、外国人のためのフードバンクを立ちあげました。私は、食品の調達の他に、日本語でしか申請できない助成金の申請書を書く事を手伝っています。

彼らの生活は、決して楽ではありません。ましてや怪我や病気で失業したり、高齢で働けなくなった人達の生活はきわめて厳しいのです。日本人の生活困窮者が敬遠しがちな、災害時の備蓄食品の乾パンやアルファ米等、災害時の炊き出しで使う五キロも入ったアルファ米の袋も家族で少しづつ使っています。日本人には無視される備蓄用の水もさばけます。母国では水道の水を飲む習慣が無かったので、ペット入りの水が喜ばれません。

先日、フードバンクかながわさん

から大量の強力小麦粉をいただきました。強力小麦粉とは、パンやピザ生地、お団子などを作る小麦粉です。フードバンクかながわさんは



、数百カ所の配布先に希望を募ったところ、わずか三十ケースしか注文が集まらなかったそうです。今や日本では、家庭でパンなどを焼いたりお団子を作る人はほとんどいなくなったようです。ところが、外国人向けフードバンクは、どんどん引き受けてくれます。子ども達にお菓子を買いゆとりもなく、仕事と家事に追われていてもパンを焼くのです。昔、昭和三十年代の子どものころ、母が私の誕生日に手作りケーキを焼いてくれて、それがすごく嬉しかった事を思い出しました。

外国人の人達は、生活が苦しくてもたくましく生きています。最後に残った食品も引き受けて、食品ロス削減にも貢献してもらっているのです。



小倉将信大臣と面談しました

小倉大臣は、内閣府特命担当(少子化対策・男女共同参画)として、ことも政策、共生社会、女性活躍、孤独孤立対策の仕事を担っておられます。四十二歳の若手です。

大臣は、子どもの貧困などの問題に活動しているNPOの話をお聴きしたいとの事で、フードバンクTAMAの芝

田氏(写真向かって右側)が企画し実現しました。

フードバンクTAMAが、活動している多摩地域での貧困家庭への取組みについて説明し、私からは、この三年間フードバンクとして取り組んだコロナ禍被害者への支援と、これからやろうとしている物価上昇で生活が困難になっている方達の対策について話しました。



今直面している物価高は、数十年間なかった事で、行政サイドにも物価高対策の経験者がおらず実効ある手が打てないでいる。私共NPOは、規模は小さくても身軽にすぐに実行できます。まず私達が先行して、その成果を行政サイドに紹介しています。小田原市内の市営住宅で行っている高齢者対策の例を話しました。「なるほどね。デフレ時代しか知らない人ばかりなんだ。」と。うなずいておられました。短い時間でしたが、多少はお役に立てたかなと思っています。

### 改修工事終了

丸紅基金の助成金を使い、当センターの改修工事が終了いたしました。

内装関係は、芹沢工務店様がカウンターの撤去を始め入口の三枚引き戸への変更等、使い勝

手を良くしていただき、電気工事は、三木電気様が従来の蛍光灯よりLEDに切り替えをはかってくださいました。

丸紅基金様はじめ回収工事にご協力頂きました2社に感謝いたします。今後も当センターの活動の変化に伴う新設、改修を計画しておりますので、丸紅基金様に再チャレンジをさせていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

ご支援ありがとうございます！



JA西湘女性部様↓



↑小田原ガス様

### 母子会へ届いた御礼の手紙

二〇二二年一月下旬、私たち家族二人は新型コロナウイルスを患い二週間の自宅療養となり、働くことが出来ず収入も減ってしまい、クリスマスはケーキやチキンは買わずに過ごすそうと考えていました。

そんな時に母子会から「クリスマスケーキの提供」の手紙が届きました。

「二月二四日クリスマスケーキをもらいに行き自宅に帰ってから箱を開けてみたら、ケーキの大きさとイチゴが別に梱包されて



ているのを見て目を丸くして驚きました。「こんな大きなケーキ、二人

じゃもったいない、皆と食べたい！」と子供が言いました。大好きな叔母に「大きいケーキがあるから、一緒に食べたいよ、遊びに来て。」と電話し、叔母と甥っ子と一緒にクリスマスを過ごすことに

しました。冷蔵庫から箱を取り出して「見てみて、すごいでしょ！」一緒にイチゴ飾ろうよ。」ととても自慢げに一緒にイチゴを飾りました。ケーキをいただいたことがきっかけになり家族そろってクリスマスを過ごすことができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

「ママ、本当にサンタクロースっていたんだね。うちにケーキが届いたもん。」と話していました。コロナ感染症で不安で厳しい生活を強いられてい

ましたが、お腹も満足しとても心温まる時間を過ごすことが出来ました。心より感謝しております、有難うございました。



### 当センターへ届いた御礼のメール

先日は、お誕生日配布会ありがとうございました。大きなネタのお寿司に大物のまぐろだね！かんぴょうがうますぎる！と息子と娘がとても喜んでおりました。私もいつぶりだろうという豪華な食事をありがたくいただきました。

事故により仕事復帰が予定よりも遅れましたが、やっと二月からお仕事が始まりました。事故の保険金もまだ入らず、仕事も二ヶ月の研修期間中は極端にお給料が安い



ため、子どもにも満足に食事を食べさせてあげられなくて…。



ママ、頑張っ！  
困った時は、連絡してくださいね

報徳スタッフ一同

### 編集後記

今号の記事にもありますように、まだまだコロナの影響が影を落とされています。コロナ以前の生活に戻れることを願ひ、皆様のご支援を引き続きお願い致します。